

滋賀大学 教職大学院

～教育データサイエンス人材育成プログラム～

これからの社会では情報やデータを活用できることはごく普通のことへと変わっていきます。教育分野においては、教育データサイエンスは学力調査の分析や個別最適化された学びの提供のために必要であり、今後益々重要になります。本学では教育データサイエンスを教育現場で実践できる人材を養成します。

所定の単位を修得すると、滋賀県教育委員会より専修免許状に「教育データサイエンス」が付記されます。

教育×データサイエンス 「教育データサイエンス実践学」のエキスパート養成

概要

Data Science

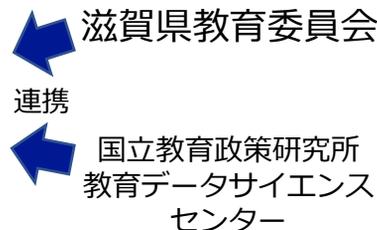
Education

データサイエンス研究科

データサイエンス・
AIイノベーション
研究推進センター



教職大学院



データサイエンス研究科との連携
教育データサイエンスの理論から実践
に至るカリキュラム

滋賀県教育委員会と連携
教職大学院での高度な専門的知識・技能
および実践的指導力の獲得

Outputs

即戦力の育成

教育データアナリストとして学校現場および教育行政分野（教育委員会等）で活躍できる人材

博士後期課程への接続

兵庫教育大学大学院連合学校
教育学研究科（連合大学院）

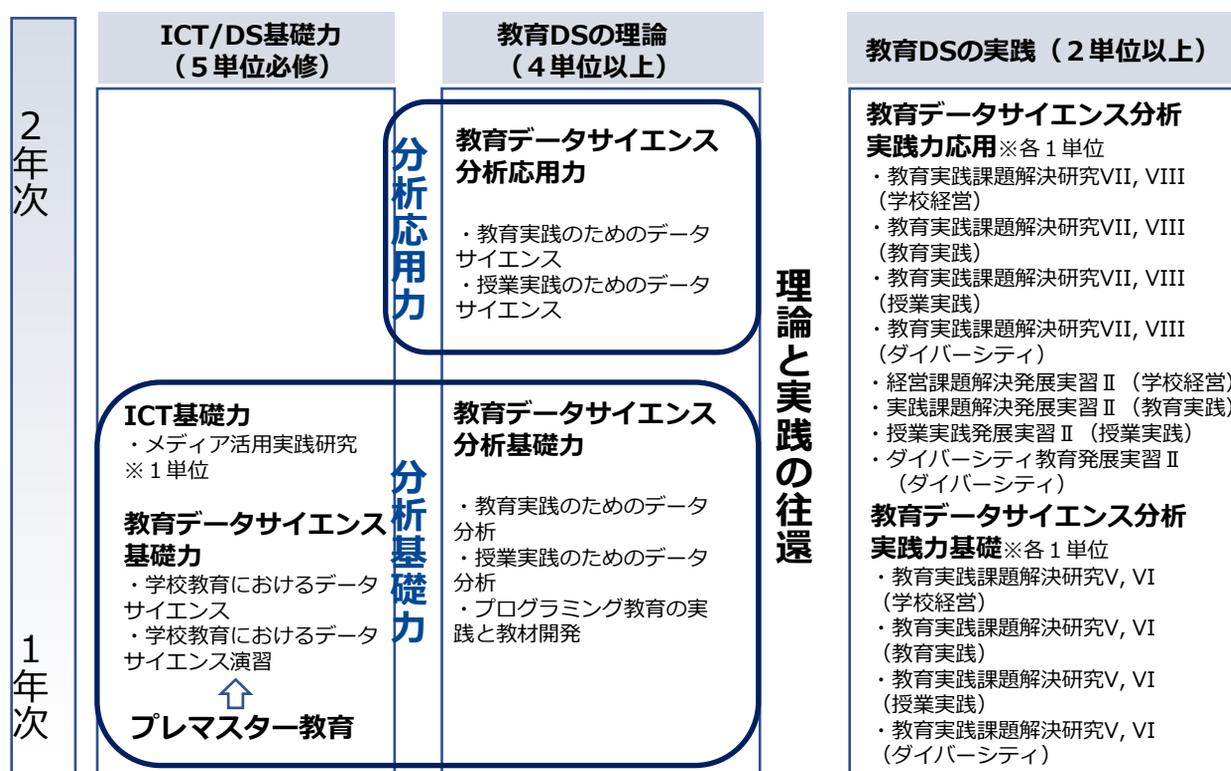
取り組み内容

学校単位で多様な教育的ニーズに対応した組織的な教育実践を創出できるスクールリーダーや、地域レベル（中学校区や自治体等の圏域）も含む学校改善を牽引できるトップリーダー（地域リーダー）の養成を目指します。さらに、本プログラムにおいて教育におけるデータサイエンス実践学を修得し、エビデンスベースの観点を身につけることで、学校改善や教育改善の視点をもった教員、教育施策形成の司令塔となる教員、学校改善に資するリーダー的教員、データリテラシーに基づく調査・収集の担当教員、各学校におけるデジタルコンテンツ利活用環境のカスタマイズが可能な教員等を養成します。

育成する人材像

- ・ 教育行政におけるデータ利活用環境の整備を牽引できる人材
- ・ 研修センターにおける講師
- ・ 教育データプラットフォームへ助言できる人材
- ・ 個々の学校におけるデータ利活用・個別最適な教育を行える人材

カリキュラムの概要（12単位以上取得）



本プログラムは文部科学省による「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」により実施します。

教員スタッフ

「新しい学び」創出の拠点となる教職大学院を目指して 研究科長 久保加織

滋賀大学教職大学院（専門職学位課程）は、平成29年に滋賀県教育委員会や滋賀県内の市町教育委員会との連携・協力のもと開設されました。教員のキャリアステージに対応した4つのコースを設置し、学部新卒学生と現職教員学生が学びあいながら、新しい時代の学校教育・子供の学びの創出に結びつく高度な専門性と力量を身につけることを目指しています。

令和6年度からは、文部科学省から「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」に選定され、教育のDX化とそのためのGIGAスクール構想に対応する地域リーダーとなる教員を輩出するプログラムを開始します。日本で初めてデータサイエンス学部・研究科を設置した滋賀大学の教職大学院ならではの挑戦的な取組です。

意欲ある方々に、教職生活の基盤づくりとして、あるいは、みずからが教育DX化推進の起爆剤となることを目指して、滋賀大学教職大学院を選択いただけたらと願っています。

教員スタッフ一覧 （令和6年4月1日現在）

コース	専任教員(研究者)	専任教員(実務家)
学校経営力開発コース	藤岡達也 藤村祐子 田川千尋	青木善治 大橋宏星 田中 満 岸田蘭子 前田利幸 詫摩京未 北村拓也 山川直孝 大矢 明 齋藤昌代 河野卓也 木村政秀
教育実践力開発コース	岸本 実 辻 延浩 若松養亮 山本はるか 山岡武邦	
授業実践力開発コース	糸乗 前 太田拓紀 久保加織 高澤茂樹 岳野公人 徳田陽明 林 睦 村田 透 長岡由記 山田淳子	
ダイバーシティ教育力 開発コース	芦谷道子 奥田援史 窪田知子 渡部雅之 松島明日香	

兼任教員(研究者)
石川俊之 井ノ口史 于一楽 宇佐見隆之 大清水裕 大平雅子 加納 圭 児玉奈々 齋藤浩文 篠原雅史 白石恵理子 神 直人 鈴木宏昌 田中宏子 恒川雅典 中村史郎 二宮美那子 長谷川武博 服部昭尚 馬場義弘 藤田昌宏 古橋 潔 松田繁樹 松丸真大 右田正夫 水上善博 三輪貴美枝 森 太郎 世ノ一善生 若林千春 渡邊暁彦 安藤哲郎 岩井憲一 大山政光 蔵永 瞳 田中佑美 中根庸介 林 直生 羽山裕子 平松紀代子 宮本結佳 山本一成 渡邊 史 渡邊慶子